

“生きる人が、活きるまちを” 人の暮らしを豊かにするまちづくり企業へ、 東急設計コンサルタントがブランドビジョン刷新

都市計画、土木設計、建築の設計・監理など、まちづくりをワンパッケージで手掛ける「株式会社東急設計コンサルタント（東京都目黒区・取締役社長 澁谷宗彦）」は、ブランドビジョンを全面的に刷新し、設計会社にとどまらない、人の暮らしを豊かにするまちづくり企業への進化を表明しました。

この刷新は、2023 年 4 月に創立 50 周年を迎えたことを機に策定された、次の 5 年間を見据えた中期経営計画「NEXT 5」と一体的な取り組みとなっています。「NEXT 5」では、土木・建築の業務基盤強化や大型案件獲得、技術継承・人材育成などを掲げており、これらに連動する形でブランドビジョンを策定しました。

<https://www.tokyu-sekkei.co.jp/tae-brand/>



■背景・刷新の意義

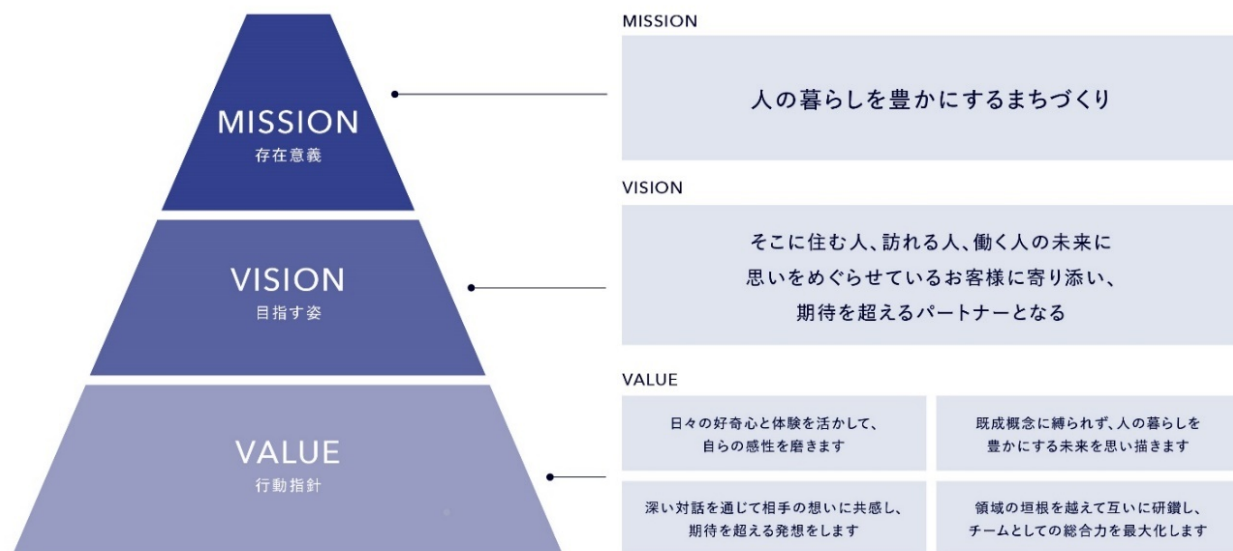
これまで建築や土木の設計・コンサルティングを主軸にしながらも、東急グループ内外の集合住宅・ホテル・商業施設・オフィス・鉄道施設等、多岐にわたるプロジェクトを通じて、まち全体の活性化や地域コミュニティの形成といった本質的な“まちづくり”に取り組んでまいりました。

近年では、再開発や建て替え、リノベーションのニーズが高まり、既存のまちや施設にも柔軟な変化が求められています。さらに、増加する複合用途の事業に対応するため、組織体制の強化も急務となっています。ニーズが多様化・複雑化する現代において、単に設計するだけではなく、これまで以上に人に寄り添い、社会課題の解決に貢献できる“まちづくり”企業を目指していきたくと考えています。

このブランドビジョンの刷新は、私たちがこれまで取り組んできたことを、“まちづくり”企業として再定義する取り組みであり、さらなる発展と価値創出を目指すものです。

■新しい理念・ビジョンの紹介

新しい理念・ビジョンは、約1年にわたる社員参加型のプロセスを経て策定されました。ワークショップやアンケートなどを通じて交わされた多くの対話から、人に寄り添ったまちをつくりたいという社員の想いが込められています。尚、本ブランドビジョン刷新は、株式会社東急エージェンシーのブランドコンサルティングユニット「ゆえん」*による支援のもと実施いたしました。



【MISSION】

人の暮らしを豊かにするまちづくり

【VISION】

そこに住む人、訪れる人、働く人の未来に思いをめぐらせているお客様に寄り添い、期待を超えるパートナーとなる

【VALUE】

日々の好奇心と体験を活かして、自らの感性を磨きます

既成概念に縛られず、人の暮らしを豊かにする未来を思い描きます

深い対話を通じて相手の想いに共感し、期待を超える発想をします

領域の垣根を越えて互いに研鑽し、チームとしての総合力を最大化します

■ブランドビジョン刷新を受けた社員の声

建築設計本部 第3設計室 石井 陽

人がいるからこそ建物が必要となり、建物は多くの人々に使われることで生き生きとして、生活やまちに浸透していきます。建物が更新され新しい景色になっても、昔からその場所にあったかのように親しまれ、自然に存在している事が大切だと思っています。人の思いに寄り添い、生活やまち、環境に根ざして親しまれていく建築をつくっていきたいと思っています。



建築設計本部 西日本支店 扇芝 孝誠

お客様が「このまちを変えたい」と思ったときに、「東急設計コンサルタントに頼めば、人に寄り添ったまちをつくってくれるんじゃないか」と思っていたきたいです。ブランドビジョンを刷新したことで、そんな想いや信頼が、少しずつ浸透して広がっていったら嬉しいです。



都市・土木本部 まちづくり室 林 佐奈美

まちづくりは、そこに住む人、訪れる人、働く人の人生の一部だと思っています。建物や空間をデザインするだけでなく、居心地良く過ごしてもらえるよう、人の生活をデザインすることもまちづくりの大切な役割の1つです。だからこそ、人の想いに寄り添いながら責任を持ってまちづくりに取り組んでいきたいです。



■今後の展望と社長メッセージ



時代の移り変わりとともに、人々の価値観や暮らし方、そしてまちの在り方も大きく変化しています。

今、私たちに求められているのは、建物やまちを設計することだけではなく、その先にある人々の“暮らし”や“体験”、そして“想い”にまで目を向けることです。

そこに住む人、訪れる人、働く人の未来に思いをめぐらせ、より豊かで、より活力に満ちたまちをどう描くか——今回のブランドビジョン策定にあたっては、社員一人ひとりが未来を見据え、自らの言葉で想いを語り、対話を重ねながら、企業としての「あるべき姿」を真摯に模索してまいりました。そうして生まれた言葉が、「生きる人が、活きるまちを」です。

この言葉には、“私たち東急設計コンサルタントが、人々の想いに寄り添いながらまちの未来を共に築いていく存在でありたい”という想いが込められています。

東急設計コンサルタントには、多種多様なプロジェクトを通して培ってきた技術力、そして、都市計画から土木、建築まで、トータルでまちづくりをサポートできる総合力があります。様々な領域の技術や知見を結集させることで、1+1 が3 にも5 にもなるような価値を生み出していく——そんな「共創」こそが、私たちの強みであり、ブランドビジョンを実現する鍵だと信じています。

私たちはこのブランドビジョンのもと、これからも人々の“生活”に寄り添い、暮らしを豊かにするまちづくりの実現を目指します。

取締役社長 澁谷 宗彦

■ビジョンを体現する事業事例



南町田グランベリーパーク及び周辺開発

「賑わいと緑の融合」をテーマに、駅・大規模な都市公園・商業施設や住宅が隣接する立地特性を最大限に活かした“まち”。都市開発・土木・建築の共創により、暮らしやすく、住む人にも訪れる人にも魅力的な、次世代へ繋ぐ持続可能なまちの実現を目指しています。



渋谷駅周辺開発

100年以上にわたる東急グループの最重要拠点。当社も渋谷ストリームや渋谷スクランブルスクエア、渋谷アクシュなどのプロジェクトに参画してきました。まちづくりを通じてまちの魅力を高め、人が主役でにぎわいと回遊性を創出しつつ、まちの課題を克服し、災害に強く、環境と共生する持続可能な都市の実現を目指しています。



道玄坂通

区画整理、基盤設計、複合用途（商業・オフィス・ホテル）の建築設計を社内協業によりワンストップで手掛けました。人が通り、すれ違い、待ち合わせの場となるような「道」を通したことで、雑多な敷地に回遊性が生まれたほか、防災・防犯の向上、低未利用地の問題、区の宿泊施設不足などの課題解決にもつながりました。



ザ・ホテル青龍 京都清水

1933年に建築された旧京都市立清水小学校の校舎を、歴史的価値を尊重しつつ現代の快適性を備えたラグジュアリーホテルへと再生したプロジェクトです。長年地域の人々に愛されてきた小学校の歴史・文化を継承し、未来へつなぐホテルとして再生されました。

■中期経営計画「NEXT5」

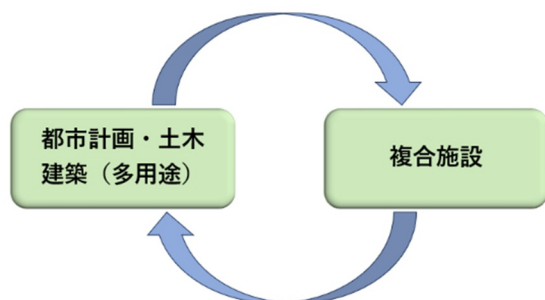
「NEXT5」は、当社が2023年4月に創立50周年を迎えたのを契機に策定した、次の5年間を見据えた中期経営計画です。この計画は、企業の持続的成長と社会的責任を果たすための戦略的な指針となります。

＜次の5年に向けた5つの取り組み＞

- ①土木から建築まで、そして多用途に対応する業務対応力の維持確立
- ②用途を組み合わせた複合ビル・鉄道施設を含んだ再開発等の大型案件の獲得
- ③様々なお客様と社内へ業務実績を随時発信し、社内外の情報収集に取り組む
- ④50年の技術の継承と環境対応と新しいツール（BIM等）の融合によるスキル向上
- ⑤社会変化に対応した人財力の確保と向上、研修・勉強会等の実施による社内ノウハウの向上

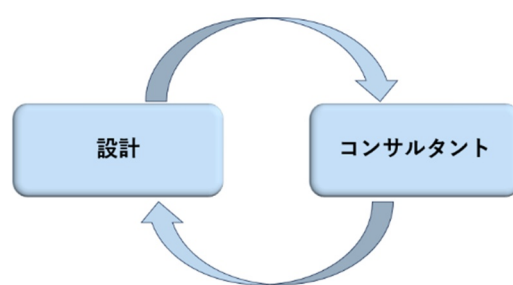
< 5つの成長サイクル >

成長サイクル①



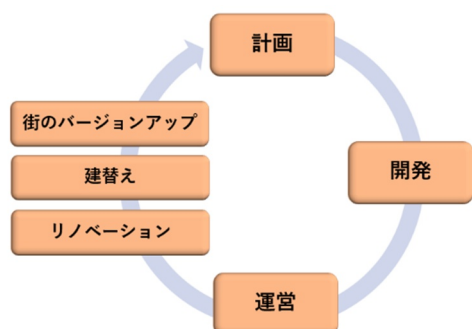
ワンパッケージで対応できる設計力を活かし、複合施設のプロジェクトに取り組み、そこで得た知見やノウハウを再び各分野の設計に還元します。

成長サイクル②



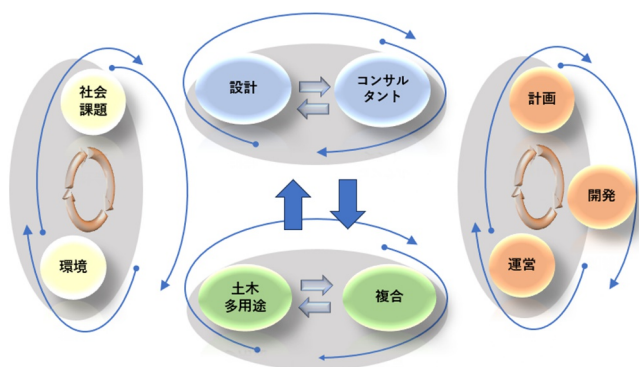
設計だけではなく、顧客目線に立ったコンサルタントを行うことで、課題解決力を高め、好循環を生みだします。

成長サイクル③



まちの完成後もつづく、運営やバージョンアップまでを見据えた持続可能なまちの成長サイクルを支えます。

成長サイクル④



成長サイクル①～③に加え、社会課題および環境への対応を統合した4つの成長サイクルを構築。これらを連動させることで、まちづくりにおける相乗効果を創出しています。

成長サイクル⑤



「生きる人が、活きるまちを」をタグラインに掲げ、まちづくりに関わる多様な方々との連携を重視するとともに、それぞれの想いや視点に目を向けたまちづくりを推進しています。図中の2つの空欄は、社員一人ひとりがまちづくりにおいて関わる人や組織を自由に定義することで、このサイクルが個々の視点から完成する構造となっています。

■企業概要

「生きる人が、活きるまちを」

東急設計コンサルタントは、人々の“生活”に寄り添い、“人の暮らしを豊かにするまちづくり”を目指す企業です。1973年の設立以来、50年以上にわたり、都市計画、土木設計、建築の設計・監理を一貫して担い、まちづくり技術をワンパッケージで提供してきました。東急グループ内外の集合住宅・ホテル・商業施設・オフィス・鉄道施設など、多岐にわたるプロジェクトを通じて、まち全体の活性化や地域コミュニティの形成といった本質的な“まちづくり”に取り組んでいます。

2025年6月には、ブランドビジョンを全面的に刷新しました。新たなタグライン「生きる人が、活きるまちを」のもと、社会課題が多様化・複雑化する現代において、単にモノをつくるだけではなく、これまで以上に人に寄り添い、社会課題の解決に貢献できる“まちづくり”企業を目指してまいります。



生きる人が、活きるまちを

東急設計コンサルタント

社名：株式会社東急設計コンサルタント Tokyu Architects & Engineers INC.

代表者名：澁谷 宗彦

設立：1973年4月

資本金：1億円

所在地：本社 〒153-0061 東京都目黒区中目黒 3-1-33

西日本支店 〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎 2-16-26 KITOCLASS 2F

事業内容：建築ならびに土木に関する企画、調査、設計、工事監理

地域開発に関する企画、調査、設計

土地利用・事業計画のコンサルタント

URL：<https://www.tokyu-sekkei.co.jp/>

*ブランドコンサルティングユニット「ゆえん」

ゆえん

総合広告会社・株式会社東急エージェンシー内に設立されたファシリテーション型ブランドコンサルティングユニット。

東急エージェンシー独自のブランド構築サービス「V-WAYS®」のノウハウを継承し、多様な企業・組織を対象にしてブランドの構築から実践・浸透までを伴走支援いたします。

URL：<https://youand-firm.jp>

本プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社東急設計コンサルタント コーポレート本部 広報担当

E-mail：soumu@tokyu-sekkei.co.jp